

私は御陰様で六十歳を過ぎても会社勤めをしています。私の若い頃は「会社人間になれ」とよく言われましたが、今は「会社人間になるな」と言われているようです。いろいろな考え方があっていいし、いろいろな生き方があっていいと思います。私自身の定義は、人間は自分の職業を通して社会に奉仕することです。顧客に満足を奉仕し、利益を社会に奉仕する。政治家は理念や政策を忘れ、国家の概念を国民に明確に示していません。



町区 西村隆夫さん

官僚や地方公務員の相次ぐ不祥事は、まさに国民や市民に対するサービス精神を失い、公僕存在意義さえ見失われているのです。社会も会社も奉仕する精神のない人は求めません。議員の皆さんも市民や地域に奉仕する心をいつまでも持ちつづけて頂きたいと願っています。

市民の声

他人事に思えた高齢化社会、気づくと我もまもなく後期高齢者世代、人生末期にあたり、地球や宇宙の年輪を思う時、宇宙の塵にもあたらぬ自分が敢えて何かを残そうと喘ぐ存在に気がつく。昨日に向かって



吉田五区 務台 昭さん

今です。現代人は努力と勤勉により経済、産業や文化など画期的な変革をもたらせましたが、その反面で地球温暖化による氷河の流出、陸地の減少、砂漠化の進行、生態系の変化。また差別や戦争、貧困と飢餓、核問題、災害や医療など、国際会議で頻りに会議を深め、まさに真剣勝負の世界会議をしております。当塩尻市も

議会を中心に非常事態対策を検討され有難く思いますが、地域行政の中核として掲げた「協働のまちづくり」にこれらの問題を提起し、住民意識の高揚と実践に取り組んで欲しいと思います。協働のコミュニケーション作り実現には人間がもつエゴイズムの払拭が必要で、「一人は皆のために、皆は一人のために」の精神をお互いが持つ、塩尻市の発展はここにあると思います。今後の市議会にご期待申し上げます。

市議会レポート

4月22日・23日市議会市街地活性化特別委員会行政視察
市街地活性化特別委員会で兵庫県豊岡市へ視察を行いました。



4月22日 豊岡市での視察の様子

まちづくりの先進事例として「出石まちづくり公社」から住民・NPO・第三セクター・行政が一体となって進めるまちづくり活動とそのリーダーシップについて説明を受けました。



5月21日 市議会議長への報告

5月21日議会改革等研究委員会の研究結果の報告
市議会議長の諮問機関である議会改革等研究委員会での研究結果について、議長へ報告を行いました。

報告の概要は
○委員会の原則公開
・9月から現在の許可制を原則公開に。
○情報公開の拡大
・市議会だよりや、市議会ホームページで積極的な情報公開を行うこと。
（各委員会の行政視察報告・委員会会議録の公開・政務調査費の収支報告など）
○政務調査費の公明性
・使途範囲を明確にした申し合せの確認。収支報告書に領収書添付など

9月定例会の予定

9月1日	招 集 日
8日	一 般 質 問
9日	
10日	
11日	委 員 会 審 査
12日	
16日	
17日	
18日	
19日	
22日	最 終 日
25日	

会議の日程は変更になる場合があります。
間近になりましたら議会事務局へお問い合わせください。
(ホームページでもお知らせします)
議会事務局
TEL (0263) 52-0280 (内線1411)
URL <http://www.city.shiojiri.nagano.jp>

議会議決

◆議会はお菓子の「おまけ」ではない。政令の基準に従って、条件を満たせば市長が議会に報告のみで決定ができる専決処分。議会がチェック機能を発揮できない原因のひとつである。自治体規模に対応した制度改正を望む。

◆使途が各地で問題になっている政務調査費。塩尻市議会でも「政務調査費申し合わせ事項」を決めた。使途基準をこれまで以上に明確にすると共に、従来どおり飲食には支出しない、報告書に領収書を添付する、収支報告を公表するなどあわせて確認した。

◆地震大国ニッポン。04新潟県中越、05福岡県西方沖、宮城県沖、07能登半島、新潟県中越沖、08岩手・宮城内陸。震度6以上の大地震が5年間に6回発生。この地にも危惧される活断層が走る。次はここかも。できる限りの防災対策を講じておきたい。

議会広報委員会

- ◎ 中原巳年男 ○ 石井 新吾
- 金子 勝寿 ○ 山口 恵子
- 古畑 秀夫 ○ 青柳 充茂
- 五味 東條 ○ 柴田 博
- ◎ 委員長 ○ 副委員長